

Campus News

[キャンパスニュース]

2020. **7**
Vol.56

【特集】

- 情報学部でオンライン卒業式を開催
- 情報デザイン学科 富田寿人教授が文部科学大臣表彰を受賞
- 公益財団法人静岡市文化振興財団、藤枝市と連携協定を締結
- 帰国直前の留学生に日本での生活をインタビュー



■ 卒業生に対するお祝いメッセージを 本学ホームページ上で発信しました

実社会へと巣立つ卒業生にお祝いの言葉を伝える場「卒業式」が、
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。
教職員それぞれが卒業生へと贈りたい言葉をメッセージボードにしたため、
本学ホームページで卒業生に向けて発信しました。

はじまりを、つくる



静岡理工科大学





学長挨拶

遠隔授業の先を見据えて

学長 野口 博

本学では、対面授業の再開に向けて、6月1日から大学院の授業と研究指導、6月8日から学部の卒業研究の指導、そして6月15日から学部の実験実習科目の授業と、段階的に進めてきました。

今までも、また、これからも「学生を育てること」が本学の重要な使命の一つです。新型コロナウイルスの国内感染が拡大して以降、本学においても学生の安全確保を優先し、感染防止に最も効果的な措置として、人と人の接触を避けるために登校禁止としました。その中での教育は、対面授業に代えて、教職員のご協力を得て、遠隔での授業を4月22日から実施いたしました。これは、静岡県内の大学としては、かなり早い段階での取り組みとなりました。しかしながら、感染防止への配慮が求められる状況は、一時的なことではなく長期間に及ぶと予想されます。したがって、今までとは異なる教育の環境や方法を見出し、今まで、またそれ以上の教育を提供することができるように、様々な工夫を凝らしながら、前に進んで行く段階となります。これは正に、正解のない課題に対して最適解を求めて行くことです。

今後は、遠隔授業の良さも活用しながら、対面で行う講義や実験実習での、学生同志や教員とのリアルな体験や交流から得られる「専門力と人間力の総合力」を身に付けることが大切です。

新型コロナウイルスが終息して感染防止が不要となったときの「新しい生活様式」に対応した「新しい教育様式」を定着させて行くことを目指して取り組んでまいります。また、遠隔授業への取り組みと経験を、今後の教育にどのように活かせるのか、メリット・デメリットを精査し、対面授業と遠隔授業をバランス良く併用するハイブリッド型授業の開発も視野に入れ、さらには自宅での学習時間の確保に活かし、予習・復習の徹底へ、皆様のご理解とご協力も得ながら、本学教育の進化に活かして行きたいと思っております。

遠州灘

今回の緊急事態宣言において多くの国民が自主的に自覚を持って行動したこと、(少なくとも5月下旬現在)見事に新規感染者が減っており大変素晴らしいと思えました。一方で様々な判断の過程で出てきたと思われる予想や計算に関してはあまり報道されることがありません。このような数理モデルはパラメータ化が非常に重要で、実際のパラメータが少し違くと大きく結果が変わってしまうという危うさを持っています(そして研究ではうまくいかないことも多く非常に無力感を覚えます)。専門家の方々がどのように考えてどうなったのか、これだけ日常生活に影響を与えている話なので皆で考えることも良いのではないのでしょうか。(T)

遠州灘

特集 情報学部でオンライン卒業式を開催

令和2年3月14日に開催を予定した卒業証書・学位記授与式は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により開催を中止しました。この決定を受けた本学情報学部では、卒業生を送り出すセレモニーとして、「オンライン卒業式」を開催しました。

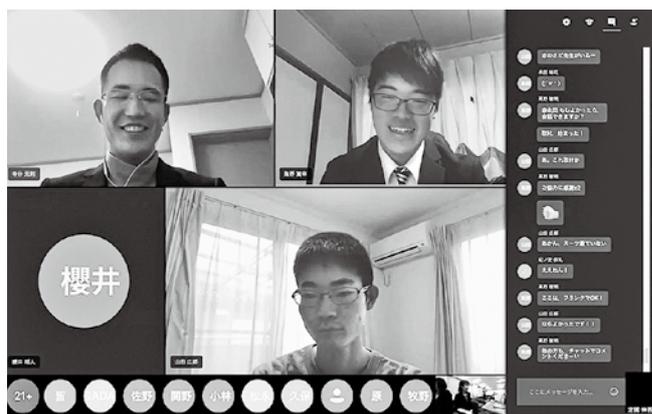
情報学部では、在学中にコンピュータやネットワークの専門技術や活用方法を学び、その知識や技術により、学生個々がオンライン卒業式開催のための環境設定を行うことで、セレモニーの開催を実現できました。

オンライン卒業式では、学部長や学科長からのメッセージをライブ配信し、参加者全員で学歌を斉唱するなど、コロナ禍においても何らかの形で卒業生の門出を祝い、送り出してあげたいという先生方の気持ちが届く、アットホームなセレモニーとなりました。

セレモニー終了後も、参加した学生達と先生方のオンラインでの歓談は続き、「学生生活で重要な区切りとなる卒業式がオンラインで行われ、忘れられない式になった」「逆境の中で何が出来るかを考え、実行に移すことの重要性を知りました」と、お世話になった先生方へのお礼を述べる姿も見られました。



▲卒業生へとメッセージを贈る幸谷情報学部長



▲セレモニー後にオンラインで教員と歓談する学生

静岡理工科大学における新型コロナウイルス感染症に対する取組み

- 4月 3日 …………… 令和2年度入学式の開催を中止
- 4月 3日～17日 …………… 学年毎の分散登校により、ガイダンス等を実施
- 4月 22日～ …………… 前期授業をWeb環境を用いた遠隔授業で開始
- 4月 30日～ …………… Wi-Fi等の環境の無い学生に対し、ルーターの無償貸与
- 5月 15日～ …………… 新型コロナウイルス対策「緊急特例貸付金制度」を設立
- 6月 1日～ …………… 大学院の講義・実験実習等一部授業を再開
- 6月 8日～ …………… 学部生の卒業研究を条件付きで再開
- 6月 15日～ …………… 学部生の実験実習科目等一部授業の平常授業を再開
- 6月 25日～ …………… 「コロナ募金緊急支援給付金制度」を創設

※上記以外の取組みについては、本学HP内特設ページ (<https://www.sist.ac.jp/news/corona-info/>) にてご確認ください。

特集

情報デザイン学科 富田寿人教授が 文部科学大臣表彰を受賞

情報デザイン学科の富田寿人教授が、全国的な社会教育の振興に功労があった者として、「文部科学大臣表彰 令和元年度社会教育功労者表彰」を受賞し、令和2年2月14日に文部科学省で開催された表彰式に出席しました。

受賞の概要

富田教授は、平成5年に財団法人日本体育協会（現 公益財団法人日本スポーツ協会）日本スポーツ少年団シニア・リーダー・スクール講師に就任し、以降様々な要職を歴任する中でスポーツ少年団の理想像を想定し、将来を担う世代を育成する観点から青少年の健全育成を目指すスポーツ少年団の諸施策に多大な貢献を尽くした。

また、数多くの国際交流事業にも参加し、海外のスポーツ事情について見聞を広めることで、指導者として自らの資質向上に努め、積極的な国際親善にも尽力している。

平成21年には、同財団常任委員に就任し、日本スポーツ少年団第9次育成5か年計画および第10次育成6か年計画の策定に取り組みとともに、国内および国際交流事業の企画から活動プログラムの開発まで、幅広く展開・実施する等、多年にわたる全国的な社会教育の振興への功績により今回の受賞に至った。



特集

学校法人静岡理工科大学が新たな連携協定を締結しました

学校法人静岡理工科大学が設置する大学・中学校・高等学校・専門学校並びに日本語学院、合計13校の多様な分野での協力・連携を促進し、そこでの様々な活動が多く成果を生み出すことを目的とした連携協定を締結しました。



▲左から、橋本理事長、高木理事長

【公益財団法人静岡市文化振興財団】

令和元年12月15日(日)、公益財団法人静岡市文化振興財団（静岡市葵区）と本学校法人が、地域における学術および文化の創造・振興並びにそれを担う人材・組織の育成についての連携を目的とする協定締結の調印式を静岡科学館るくるで執り行いました。

高木雅宏同財団理事長と橋本新平本学校法人理事長が協定書に署名し、これまでの両者間における様々な取り組みを礎とした協力・連携関係を深化・発展させる連携関係が構築されました。

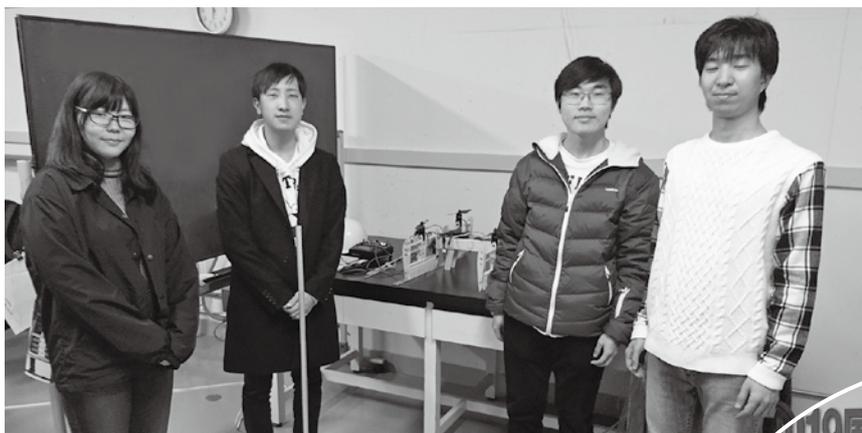


▲左から、野口学長、橋本理事長、北村市長

【藤枝市】

令和2年3月9日(月)、藤枝市と本学校法人が、魅力ある地域づくりと持続力のある地域産業の創出、これに伴う人材づくりを共に推進するための包括的な連携協定の締結式を藤枝市役所で執り行いました。

北村正平藤枝市長と橋本新平本学校法人理事長が協定書に署名し、それぞれが有する資源やノウハウを活かし、多面的に連携・協力することで得る相乗効果を地域社会へと還元させ、さらなる発展を目指す連携関係が構築されました。



ブラジル航空技術大学 (ITA) と静岡理工科大学は、航空宇宙分野の産業創成のため、研究交流および人的交流に関する覚書を2016年に締結しました。今回、ITAから本学に短期留学生として来日していた田中ロドリゴさんに、本学での学びや袋井市での生活について伺いました。

司会 帰国の日が近づいてきましたが、日本の生活はいかがでしたか？

田中 日本には、相手への思いやりを持った人がとても多いなと思いました。それに、治安がとても良いと感じました。ブラジルでは、犯罪の多い場所や地域がありますが、日本ではそういったことを心配する必要もなく、安心して生活することができました。

司会 留学期間中の多くの時間を過ごした袋井市について、どんな印象ですか？

田中 アパート周辺には、コンビニやレストランがあり、少し離れたところには古書店もある。非常に便利でした。唯一困ったことは、風が強過ぎることです。毎日大学まで自転車で通っていたので、風が強くてとても大変でした。雨が降った日は、傘をさすのも一苦労でした。

大半のことは、周りの皆さんが助けてくれたので、とても過ごしやすいかったです。

司会 この辺り特有の強い風「遠州のからっ風」に苦労されたんですね。

ところで、留学をすると決めても、世界には様々な国や大学がありますよね。その中から日本の、本学を選んだ理由を教えてください。

田中 子供の頃から日本のアニメや漫画が好きで、様々な作品を見たり・読んだりしてきました。その中で「問題解決の方法」や「重要だと考えるポイント」がブラジルとは違うということを感じていました。日本に行けば、その理由がわかるのではと思って、留学先を日本に決めました。大学については、先輩のダニエルさん (ITAからの2018年度短期留学生) が、「静岡理工科大学で素晴らしい経験ができた」と言っていたのを聞き、私も行ってみたいと思うようになりました。

司会 実際に静岡理工科大学で学んでみた感想は？

田中 スペースデブリ (宇宙ゴミ) をテーマとした画像処理プログラムについて学びましたが、ITAで勉強しているロボティクス分野の研究で非常に役立つと思います。あと、チームで研究や実験ができたことがとても良い経験になりました。



▲田中ロドリゴさん

司会 日本で過ごした時間を振り返って思うことはありますか？

田中 言葉や文化について勉強はしてきましたが、足りない部分が多くて、沢山の人の世話になりました。そんな中でも、大学で学ぶことはとても楽しく、空いた時間を使って他大学の研究室を見学させていただいたり、最新技術の展示会に行ってみたりと、日本での生活は本当に良い経験になりました。

知っている人がどこにも居ない。文化も全く違う。この3ヶ月は、何物にも代え難い経験ができた時間だと感じています。

司会 日本での生活も残り僅かになりましたね。ぜひ有意義な時間を過ごしてください。

長時間にわたり、ありがとうございました。



Message for S.I.S.T. [大学へのメッセージ]

事業課題を乗り越えるパートナー

株式会社スカイプランニング 取締役社長 小野 巳吉さん

弊社は浜松市北区三ヶ日町にありますトップライト(天窗)メーカーです。A-SAP産学官金イノベーション推進事業で、自社で長年抱えてきた課題を、静岡理工科大学のコンピュータシステム学科と建築学科の先生や学生の皆さんの技術協力のもと、無事に解決し大満足で事業を完了することが出来ました。いろいろな業種の様々な企業が、よりいいものを作り出していこうとする過程で、自分たちの専門外の知識や技術が必要になる場面はたくさんあります。当社のように静岡理工科大学の協力を必要としている企業さんが沢山あると思います。さまざまな分野のエキスパートが集まった静岡理工科大学が、その知識を十分に発揮していただき、地域企業の問題解決にご協力いただけることを今後も大いに期待しております。



大学を活かしたまちづくり

袋井市教育委員会生涯学習課 文化振興係 岩倉 悠太さん

静岡理工科大学と本市は、大学開学以来、二人三脚で袋井市の発展のためのまちづくりに取り組んできました。

市民の皆様へ最先端の研究や話題を提供する「公開講座」や、地域産業の活性化や新規産業の創出、人材の育成等を進める「産学官連携」、昨年エコパスタジアムで試合が開催された「ラグビーワールドカップ2019」での来場者へのおもてなしなど、様々な取組が展開されています。

毎年8月に開催しております市民体験入学では、講師の話真剣に聞き、質問されている市民の皆様の様子がとても印象的で、静岡理工科大学の持つ魅力を、もっともっと市民の皆様へ届けたいと強く思いました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、なかなか思い通りに事業を実施することができない状況ではありますが、これからも、まちづくりの良きパートナーとして、一緒に袋井市を盛り上げていただきたいと思っています。



活躍する卒業生

ハイテクシステム株式会社 押尾 圭太さん
(電気電子工学科 第22期卒業生)

大学では、武岡研究室に所属しパラメトリックスピーカに関する研究を行いました。

私は元々音楽やオーディオに興味があったため、音への関心が強く、研究室に配属になった直後から熱心に研究を行いました。

時には深夜から始めた測定が早朝まで及び、その後数時間の休憩を挟んでまた施設へ測定に出かけるというハードなスケジュールをこなすこともありましたが、この経験のお陰で物事をやり遂げるということの難しさや、追求することの大切さ・楽しさを学ぶことができました。

現在はシステムエンジニアとして、業務を円滑かつ正確に行うためのWebアプリケーションの開発に携わっています。

プログラムを書く仕事ですが、研究室時代にFPGAやマイコンを制御するためにコーディングをこなしていたことや、プログラミングを勉強するサークルに所属していたこともあってすぐに馴染むことができました。

IT技術が飛躍的な進化を遂げる昨今、システムエンジニアに要求される技術や知識の量は飛躍的に増加しており、その全てを吸収することは容易ではありません。

しかし、大学時代に培った「好きを追求する力」で怯むことなく、自らをさらに成長させていきたいと思っています。

令和2年度 優秀賞表彰

1年間の学業が優秀であり、人物面においても本学学生として模範である学生に贈られる「静岡理工科大学優秀賞」の受賞者36名が決定しました。

機械工学科

2年生 松岡 竜輝
早馬 由菜
3年生 小木 稜平
陳 慧強
4年生 鈴木 晴空
神谷 友貴

3年生 岩田 恵見
原田 航希
渡邊 一矢
4年生 吉田 拓矢
院1年生 中村 隼輔

物質生命科学科

2年生 山本なつみ
牧野 夏実
3年生 鈴木 綾乃

4年生 百瀬 月花
山原 翔
院1年生 佐藤 光将

建築学科

2年生 大平 成耶
内藤 魁人
3年生 田中 葵
岩崎 亮太
4年生 太田帆乃伽

鈴木 那実

コンピュータシステム学科

2年生 川合 恒希
半井 俊輔
保坂龍ノ介
3年生 漆畑 陽平
山下 颯也
4年生 鈴木 恒介
竹中あいな

情報デザイン学科

2年生 篠島 天太
3年生 尾形加奈恵
吉村 勇馬
4年生 村井 里菜
八木 成予

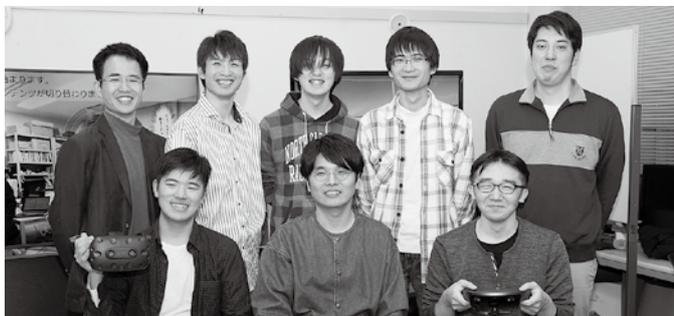
受賞者の皆さん
おめでとうございます。

電気電子工学科

2年生 岸本 杏樹

情報メディア設計研究室(コンピュータシステム学科)

おじゃまします。



情報メディア設計研究室では、情報メディアや情報技術を組み合わせ、あたらしいインタラクティブデザインの提案やその可能性の検討をおこなっています。その過程では、デザイン思考を活用した研究コンセプトの着想をおこなう他、人がシステムをどう操作し、それに対しシステムが人にどう返すか、そしてその作用を通じて人にどんな感情や感覚が生まれるか、といったことを重視し、技術中心になりすぎないように気を払いながら研究を進めています。

研究室訪問

研究室学生からひとこと

寺分 元則 さん(理工学研究科システム工学専攻1年)

道路交通状況においては、交通手段、位置の違い、視野の違いにより、行為者は安全と感じていても、その場にいる他者からは危険と感じるような場面があります。このような状況をVRで再現し、自身が行った交通を、その場にいる他者視点から体験するシステムの開発を進めています。このシステムでの体験が、交通安全意識の向上につながることを期待しています。

また、研究室で実施する、デジタルサイネージやVRコンテンツといったコンテンツの制作・展示のプロジェクトにも関わり、積極的に活動しています。

研究室担当教員

第44回

定國 伸吾 先生

プロフィール

香川県出身。名古屋大学情報科学研究科修了。博士(情報科学)。大同大学、広島国際学院大学を経て、2017年本学情報学部コンピュータシステム学科に着任。インタラクティブデザインに関わる研究に従事する他、情報メディア活用したコンテンツ制作や展示も行う。

授業の紹介

■ 3Dデザイン工学

コロナウイルスの影響を受け、全ての講義で遠隔授業を実施しました。その中で、実験や実習を伴う講義は、遠隔授業での対応に苦慮しました。3Dデザイン工学は、3次元CADの実習を伴う講義のひとつです。本講義では、3次元CADソフトウェア(SolidWorks)のライセンス契約を昨年度に見直したことで、個々の学生のPCに自習ライセンスをインストールし、通常CAD室で行う講義を、遠隔による自宅で受講できる講義にいち早く切り替えることができました。

3次元CADによる機械設計を実践的に学ぶことは、産業界でのものづくりの基礎を養うだけでなく、機械工学における理論解析力を大きく向上することができます。歯車やロボットアームなど種々の3次元機械設計実習を行うことで、3次元CADによる機械設計能力を高めていきます。さらに、それらの成果を学生個々が挑戦する3次元設計能力検定の資格取得に繋げています。



担当教員: 機械工学科 教授 野崎 孝志

学長杯フットサル大会

11月23日(土)、本学フットサルコートにて、クラブ連合委員会が主催する「学長杯秋季フットサル大会」を開催しました。さわやかな秋晴れの中、参加6チームが2つのリーグに分かれて予選を行い、その後、順位決定戦を行いました。激戦を勝ち抜き、見事栄冠に輝いたのは優勝大本命の「フットサルサークル」でした。参加した学生43名は、勝負にこだわりつつも、スポーツを通じて団体や学年を越えた交流を深めました。



公開講座

11月30日(土)、本学にて「夢とイノベーション ～人に寄り添う工学～」をテーマに、第3回公開講座を開催しました。機械工学科の飛田和輝准教授と、プラネタリウム・クリエイターの大平貴之氏がそれぞれ講演を行いました。参加いただいた98名の皆さまからは、「ものづくりへの情熱や苦悩を垣間見ることができた」「ロボット技術の進展と今後の展望を知ることが出来た」等の感想をいただきました。



HACCPセミナー

12月20日(金)、本学にて「HACCP導入ワークショップ ～やさしい食の衛生管理～」を開催しました。2020年から義務化される、食品衛生のための製造工程管理システムの世界基準「HACCP(ハサップ)」とはどのようなものかについて、食品関連事業等での導入事例を交え、その価値や活用法について講演しました。当日ご参加いただいた57名の中には、実務にあたられている方も多く、講演後のグループワークでは盛んな意見交換が行われました。



建築学科シンポジウム

建築学科では意匠系・計画系・環境系・構造系の各分野の教員有志が、11月から毎月1回全3回に渡って公開シンポジウムを企画し、開催しました。副題を「静岡、建築の背後にあるもの」とし、全国的に有名な専門家を迎え、高校生から建築のベテランまで多くの一般市民を巻き込み、遠州から未来を考える場となりました。初回は「地域性」、2回目は「循環」、最終回は1月11日に「まちづくり」をテーマとし、東京大学名誉教授であり建築家の内藤廣さんをお招きしました。



第5回ふじのくに地域・大学フォーラム

2月8日(土)、本学を会場に「第5回ふじのくに地域・大学フォーラム」が開催されました。当日は、地域課題に取り組む大学ゼミ活動等の研究成果発表が行われ、本学からは「アイルランドオリンピックチームの受入に向けた地域の機運醸成について」をテーマに、コンピュータシステム学科定國研究室が成果発表を行いました。また、会場各所では、学生フォーミュラ製作現場の見学や鳥人間コンテスト出場機体・製作ロボットの展示コーナー、理科実験体験コーナー等の学生サークルによるブース出展が行われ、多くの来場者がそれぞれを楽しめました。



高校生ものづくり・ことづくりプラン コンテスト2019最終審査会

2月22日(土)、高校生の考える「こんなモノがあったらいいのに」や「こんなコトをやってみよう」というアイデアを競う、「高校生ものづくり・ことづくりプランコンテスト2019最終審査会」を浜松市内で開催しました。今回で7回目の開催となった本コンテストに、静岡県内外の高校30校193件の応募がありました。最終審査に進出した5グループによるプレゼンテーションの結果、「今すぐにも商品化ができるのではないか」との評価を得た、鈴木鞠那さん(静岡県立浜松工業高校)の「3変形クリップ」が最優秀賞に輝きました。また、次点の優秀賞には、外国人旅行者が帰国後、手軽に醸造を体験できるキットを考案した、伊藤くるみさん(岐阜県立大垣養老高校)を代表者とするグループが受賞しました。



記念図書寄贈

3月6日(金)、袋井市立図書館へ卒業生からの募金による記念図書の寄贈を行いました。大学4年間で世話になった袋井市へのお礼として、第1期生の卒業時から始まった愛野公園での記念植樹は、2018年度で25本目となり、同エリアへの植樹が困難となる程の賑わいを見せる景観となりました。このことを受け、本年度からは図書の寄贈を計画し、市民の皆さんが読みたい・読んでいただきたいを念頭に67冊(13万円相当)を選定しました。卒業生たちは「贈った本が有意義に活用されることを願っています」と話していました。



SISTサロン

3月6日(金)、9日(月)の2日間、SISTサロンを開催しました。3月6日の第77回は、機械工学科の櫻木俊一教授が「SISTにおける流体力学の研究トピックス紹介」をテーマに、続く第78回は、電気電子工学科の高橋久特任教授が「教育者としての45年間を振り返って」をテーマに講演を行いました。両名共に3月末で定年を迎えるため、自身のこれまでの教育・研究活動を振り返り、総括する内容となりました。



入試広報NEWS

■YouTubeチャンネルで本学の魅力をご紹介!!

本学専用のYouTubeチャンネルがあることをご存じですか？本チャンネルでは、本学学生の研究へ挑戦する姿勢や、本学のテレビCMなど様々なコンテンツを用意し、静岡理科大学の魅力を動画映像で紹介しています。



本学YouTubeチャンネルはこちら



ドローンを用いた本学キャンパスの空撮映像もこの5月に撮影し、公開しています。本学理工学部機械工学科には、非日常的な「飛ぶ」特殊機械であるラジコン飛行機やモデルロケットを設計・製作・飛行させることにより航空機・宇宙機を開発する難しさと喜びを体験する航空工学コースを設けています。空撮映像を通じて、空から眺める緑豊かな本学のキャンパスと共に、「飛ぶ」特殊機械ドローンの持つ「自律性」と「データ収集能力」にも注目してください。

ドローン豆知識

無人標の航空機は通称QueenBee(女王蜂)と呼ばれ、これをオマージュして雄バチを表す「ドローン」が無人航空機を指す言葉として使われたという説が有力です。

静岡理科大学の「スゴイ」「研究力」を実感しよう!!

今年度は進路イベントを人数や対象学年を制限し実施いたします。

その中で、2学部6学科(+データサイエンス専攻)のそれぞれの魅力を各学科ごとに実感していただくコンテンツを用意しています。是非お申込みください。

- リアル版 オープンキャンパス 8月22日(土)、23日(日) AM ※高校3年生対象
9月12日(土)、13日(日) AM、PM ※AMは高校2年生対象、PMは高校1、2年生対象
- リアル版 大学見学会 10月11日(日)、11月8日(日) PM

※イベントの内容は変更となる可能性があります。詳細や参加申込みは、本学受験生サイト(<https://www.sist.ac.jp/navi/>)からどうぞ!

※インターネット上で本学を知っていただくWEB版オープンキャンパスも実施します。

2021年度生入試日程 ※詳細は本学受験生サイト、入試要項をご確認ください。

入学者選抜種別	試験日	合格通知
指定校推薦 専門高校・総合学科給費奨学生推薦 公募制一般推薦・公募制自己推薦	11月21日(土)	12月1日(火)
給費奨学生推薦	12月19日(土)	12月25日(金)
一般前期(A)・(B) 一般前期(A) 共通テストプラス・(B) 共通テストプラス	2月5日(金)・6日(土)・7日(日)	2月18日(木)
一般中期(A)・(B) 一般中期(A) 共通テストプラス・(B) 共通テストプラス	2月22日(月)	2月27日(土)
一般後期(A)・(B) 一般後期(A) 共通テストプラス・(B) 共通テストプラス	3月5日(金)	3月13日(土)
前期共通テスト利用(S)・(A)・(B)	本学独自の個別試験なし	2月18日(木)
中期共通テスト利用(A)・(B)		3月13日(土)
後期共通テスト利用(A)・(B)		3月19日(金)

人事異動

令和2年4月1日付採用



理工学部物質生命科学科 准教授
高部 稚子

専門分野 細胞生物学、分子生物学
略歴 東京大学大学院 工学系研究科博士課程修了(博士(工学))。同志社大学 生命医科学部 チェア・プロフェッサー准教授を経て本学准教授に就任。

趣味 手芸、お菓子作り、着物の着付け



情報学部コンピュータシステム学科 講師
山岸 祐己

専門分野 データマイニング、情報推薦、情報可視化
略歴 静岡県立大学大学院 経営情報イノベーション研究科 博士後期課程修了。スズキ(株)を経て、本学講師に就任。

趣味 猫の飼育(2匹と暮らしていますが猫アレルギーです)

令和2年6月1日付採用



理工学部機械工学科 准教授
牧野 育代

専門分野 流体工学・水資源工学
略歴 京都大学大学院工学研究科博士課程修了(博士(工学))。東北大学 環境・安全推進センター 助教を経て本学准教授に就任。

趣味 読書、散策

お疲れ様でした

(令和2年3月31日付退職)

- 機械工学科 教授 **櫻木 俊一**
- 機械工学科 准教授 **花田 佳彦**
- 電気電子工学科 特任教授 **高橋 久**
- 物質生命科学科 教授 **常吉 俊宏**



■ 新 同窓会評議員紹介

この度、第26期卒業生の代表として同窓会評議員に任命されました、牧野仁志です。今後は、同窓会評議員として、同窓会活動に真摯に向き合っていきたいと思っております。

さて、静岡理工科大学同窓会では「ホームカミングデー」や「LINE@」等を活用し、同窓生間並びに大学との交流の場を設けております。「ホームカミングデー」は同窓生が久しぶりに大学に帰り、友人たちと語り合う憩いの場となっています。微力ではございますが、同窓会活動に参加することで、より一層同窓会を盛り上げて行きたいと思っております。

今後とも同窓会活動へのご理解ご協力とご支援ご厚情を賜りますようお願い致します。



同窓会評議員
牧野 仁志 さん
(コンピュータシステム学科)
卒業生

■ 第20回ホームカミングデーについて

令和2年10月に開催を予定しているホームカミングデーは、通算20回目の開催となり、節目を迎えた記念のホームカミングデーとなります。

今回も、参加型のコミュニケーションゲームや豪華商品が当たる大抽選会を企画しています。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大防止により、翌年度への延期となることもあります。開催の有無等の詳細については、同窓会公式HP及び各種SNSを通じてご連絡致します。

同窓生の皆さんも、健康には十分気を付けてお過ごしください。

開催有無等の連絡については、同窓会公式HP及び各種SNSを通じてご連絡致します。

【日 時】 令和2年10月25日(日)
11:00~12:30(大学祭2日目)

【参加料】 無料
【対 象】 本学卒業生及びそのご家族

【会 場】 静岡理工科大学 学生ホール

■ 同窓会各種SNSのお知らせ

ホームカミングデー等の開催告知、役員コラム、同窓会ニュース等の最新の情報を一早くお届けします! 盛りだくさんの内容となっていますので、是非登録してください!

LINE@に友だち登録すると、ホームカミングデーの景品当選確率2倍になるよ! 是非登録をお願いします!



■ 保護者懇談会の開催について

例年、本学の保護者懇談会では、午前中に全体会及び学科別懇談会、午後には個別面談(希望者のみ)を開催しています。

全体会では、本学の就職状況や外部講師を招いての講演会を行っており、学科別懇談会では各学科の特徴や近況などについて説明させていただいております。また、午後に行われる個別面談は、ご希望の方のみとなりますが、助言教員より学業成績や学生生活の様子などについてお話をさせていただきます。

現在、新型コロナウイルスの感染防止の観点より、保護者懇談会の開催方法等を検討しております。詳細なご案内については、9月に送付します学納金納付書等の案内に同封させていただきます。



サークル紹介

Space Traveler

代表 森井 直輝さん(機械工学科3年)

Space Travelerは、宇宙開発に興味があるメンバーが集まり、モデルロケットの研究をしています。目標は、毎年3月に種子島で開催されている「種子島ロケットコンテスト」の滑空機の滑空時間を競う「ペイロード有翼滑空部門」で優勝することです。2019年大会では準優勝で、あと一歩及びませんでした。その悔しさをバネに、更なる結果を求めて試行錯誤しています。

また、メンバーの希望により有翼滑空部門だけでなく、モデルロケットの到達高度を競う「高度部門」、打ち上げから機体やペイロードを射点まで回収する間のタイムを競う「フライバック部門」などにも挑戦しています。Space Travelerでは、自分の希望する部門に自由に挑戦することができるため、楽しく研究することができます。

今後の活動では、JAXA筑波宇宙センターで行われているモデルロケットの全国大会など、他大会への出場も視野に入れて活動しています。

私たちと一緒に、ロケットについて楽しく学びましょう!



スポットライト がんばる理工科大生

江 典恵さん(情報デザイン学科4年)

私は、浜松市内の様々な大学に通う学生100人ほどで構成されるよさこい演舞サークル「浜松学生連鰻陀羅」に所属しています。このサークルでは、毎年名古屋市で行われる日本最大級の踊りの祭典「にっぽんど真ん中祭り」での大賞を目指し、曲のテーマから構成、振りや衣装小道具に至るまでを毎年一から作り上げていくことが魅力の1つです。

私が携わる衣装と大道具は、踊りの華やかさや世界観の表現に大きく関わるので、その制作は1年掛かりとなり、毎日のように制作グループのメンバーとデザインについて打合せを行います。時に意見がぶつかり、うまく進まないこともあります。仲間と1つの作品を完成させた時の達成感

ここでしか味わえないと思います。

また、毎年3月に行われる「浜松がんこ祭り」ではホストチームとして全国から参加してくるチームとの交流会を開いたり、様々なイベントに参加することで交流の幅は広がります。去年は、テレビ局の特集で、お祭り会場のお客さんだけでなく、ネット中継を含む何十万～何百万人の前で踊るといった経験もできました。

私達の活動の様子はTwitterやYouTubeでも見ることができるので興味のある方は是非調べてみてください。チームメンバーも募集しています!



編集後記

令和2年となって間もなく、コロナなる語を耳にする。あれっ、皆既日食(美しい淡い冠状の光)かと思いきや、ウイルスなる語が付随しているではないか。このウイルスという恐怖の波は、瞬間に世界をめくり、日本も巻き込まれた。

例年であれば、黄色の帽子をかぶり、にこにこ顔の1年生の姿を目にするのに今年は見られなかった。当大学も入学式のないまま、新年度開始となり、授業はネット配信が主となった。講義内容および授業展開が、紋切り型にならぬよう、自己評価をしつつ、カリキュラムを終える所存である。(K)

静岡理科大学キャンパスニュース

令和2年7月31日発行

企画・編集・発行/静岡理科大学 大学広報委員会

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2

TEL.0538-45-0111 FAX.0538-45-0110

<https://www.sist.ac.jp> E-mail:shakai@sist.ac.jp

